

## 平成 27 年度 横須賀高等学校（定時制）不祥事ゼロプログラム

神奈川県立横須賀高等学校（定時制）では、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として以下のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

### 1 実施責任者

横須賀高等学校（定時制）不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び事務長、教頭がこれを補佐する。また総括教諭は校長、副校長、教頭を補佐し事務長を補助する。

### 2 課題、取組、目標及び行動計画

次の課題（１）～（８）について担当部署を決め、「職員啓発資料」や独自作成資料を活用し、職員会議における事故・不祥事防止研修及び校内研修を実施して職員の事故防止意識高揚に努める。また、管理職は打ち合わせ時に随時報道資料等を活用して継続的な啓発活動を展開する。さらに、校長は、不祥事防止のために全職員を対象とした個別面談を平成 26 年度内に必ず行う。加えて、校外講師による不祥事防止研修会を実施し、県民の視点に立った事故防止意識の確立を図る。

#### （１）公務外非行の防止（教頭・総務管理セクション）

- ア 取 組：業務中とはもとより、業務外でも法令遵守の意識を向上させる。
- イ 目 標：常に公務員としての自覚をもつことで、公務外非行をゼロにする。
- ウ 行 動：5月に公務外非行の事例を示し、法令遵守についての確認を行う。

#### （２）セクハラ、わいせつ行為及びパワーハラスメントの防止（生徒支援セクション）

- ア 取 組：生徒に対する人権を意識した適切な接し方を徹底する。
- イ 目 標：生徒との接し方に注意し、セクハラ、わいせつ行為と受け取られないことがないようにする。また、職員間のセクハラ、パワーハラスメントをゼロにする。
- ウ 行 動：11月に職場研修を実施するとともに、セクハラ、パワハラについて、校内で管理職等に相談しやすい体制を構築する。

#### （３）体罰、不適切な指導の防止（生活ガイダンスセクション）

- ア 取 組：体罰、不適切な指導をおこさない職員組織を作る。
- イ 目 標：生徒の人権を尊重し身体的なものだけでなく、言葉による暴力を含めた体罰、不適切指導を現場から根絶する。
- ウ 行 動：体罰や不適切な指導を根絶するために職員の意識統一を図り、気づいたことを指摘しあう職場環境をつくる。8月に職員を対象にした職場研修を実施する。

#### （４）会計事務等の適正執行（副校長）

- ア 取 組：私費会計の適正な運営と計画的な予算執行。
- イ 目 標：P T A 監査、財務事務調査での指摘事項をなくす。
- ウ 行 動：4月に私費会計規準に則った会計運営を会計担当者に周知し、それぞれ定められた手続きを励行する。また6月に職員を対象にした説明会を実施し会計処理手順の再確認を行う。

**(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（学務セクション）**

- ア 取組：個人情報の定義について再認識し、事故の未然防止をはかる。
- イ 目標：全職員が個人情報の適切な取り扱いをする。
- ウ 行動：個人情報の定義を再認識するための職員研修を10月に行い、再度周知する。

**(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守（生徒支援セクション）**

- ア 取組：交通法規の遵守を徹底する。
- イ 目標：交通事故の発生を未然に防止するとともに酒気帯び運転や飲酒運転を根絶する。
- ウ 行動：12月に職員全員を対象にした交通法規、処分事例などに関する資料を配付し交通事故防止意識を高めるとともに、事故発生時の対応等についても周知する。

**(7) 成績処理・各種証明書等の作成・発行に係る事故防止（学務セクション、キャリアセクション）**

- ア 取組：成績処理、通知票、調査書等の作成業務や点検業務の体制を強化する。
- イ 目標：成績処理、通知票、調査書等の事故をゼロにする。
- ウ 行動：7月に職場研修資料を用いて研修を実施し、成績処理及び通知票の作成手順を再確認するとともに、成績処理支援シートの有効活用をはかる。また9月に調査書等の発行にあたり職員全員での点検体制を構築する。

**(8) 入試選抜業務における事故防止（調査研究セクション、管理職）**

- ア 取組：正確なマニュアルの作成、入選当日の業務の確認及び事後の点検体制の徹底。
- イ 目標：入試選抜業務での事故をゼロにする。
- ウ 行動：12月までにマニュアルを整備し、昨年度の反省を踏まえ職員研修を実施する。また、1月からは繰り返しの点検体制を構築し、入試選抜業務の事故を未然に防ぐ。

**3 検証**

**(1) 中間検証**

平成27年度は、県立学校重点課題総点検等の実施結果に基づく執行体制の見直しを行うことで、中間検証に変えるものとする。

**(2) 検証**

2に規定する行動計画について、平成28年3月に実施状況を確認するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、それを行った上で、平成28年度県立横須賀高等学校(定時制)不祥事ゼロプログラムを策定する。

**4 実施結果の公表**

検証結果については、平成28年6月末までに学校ホームページ上で公開する。